

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成34年06月24日

愛知県知事 殿

提出者 〒450-6047
愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4
住 所 JRセントラルタワーズ47階

氏 名 大成建設株式会社 名古屋支店

常務執行役員支店長 鈴木 淳司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-562-7558

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社 名古屋支店		
事業場の所在地	愛知県名古屋市中村区名駅 1－1－4		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	38,559.0 t	全処理委託量	38,559.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	11,027.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	32,425.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

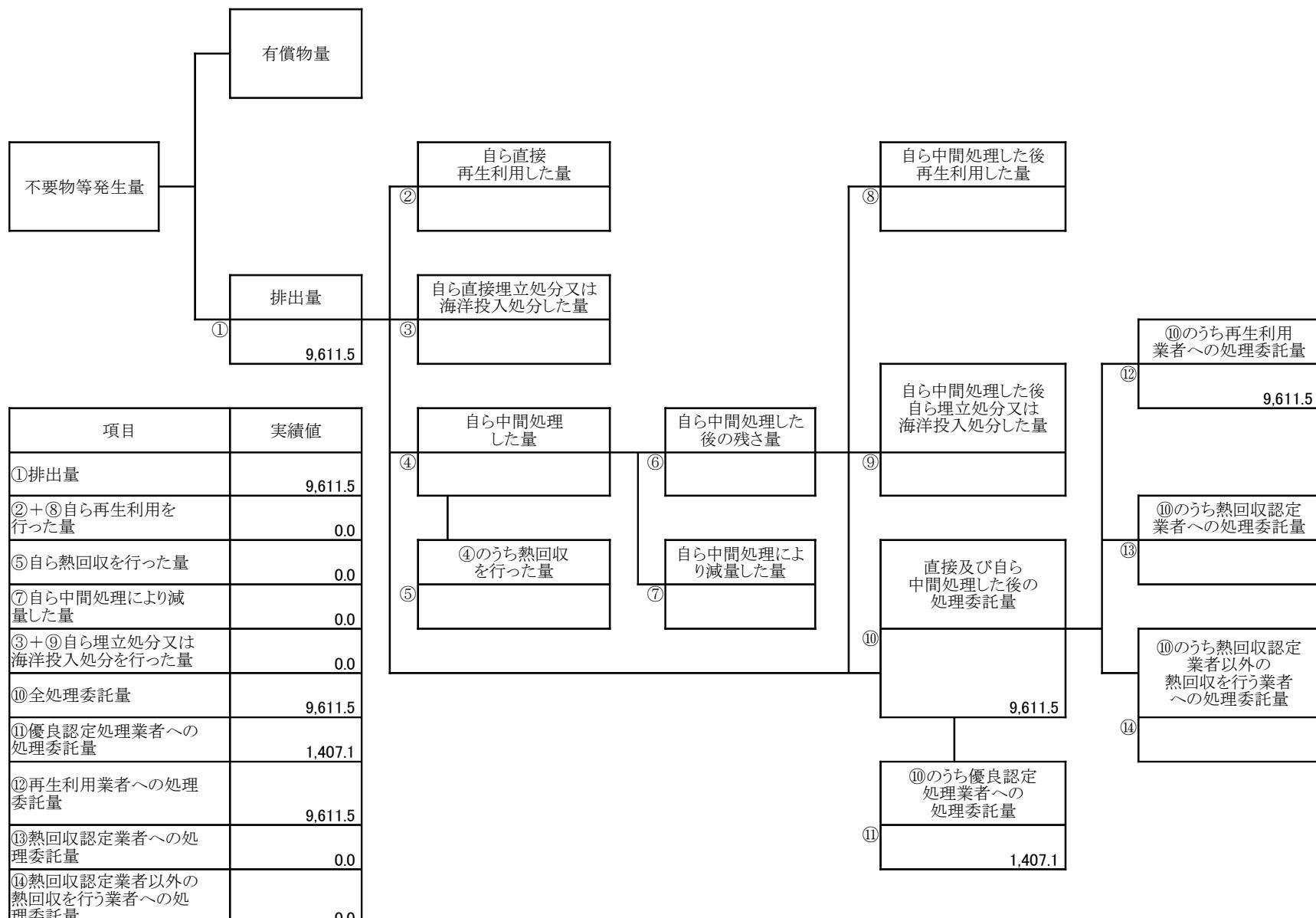
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

(単位: トン)

(第2面)

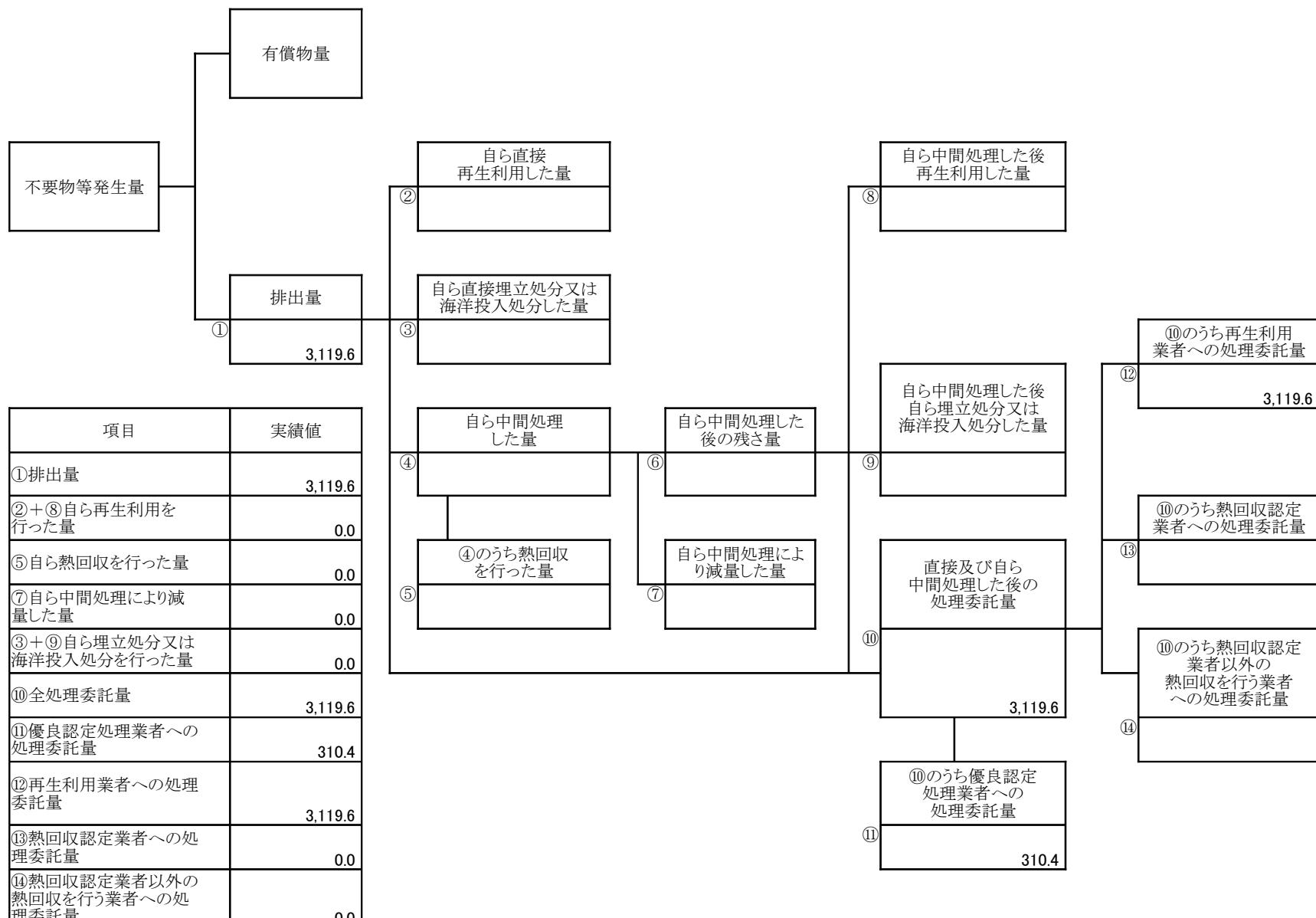


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

(単位: トン)

(第2面)

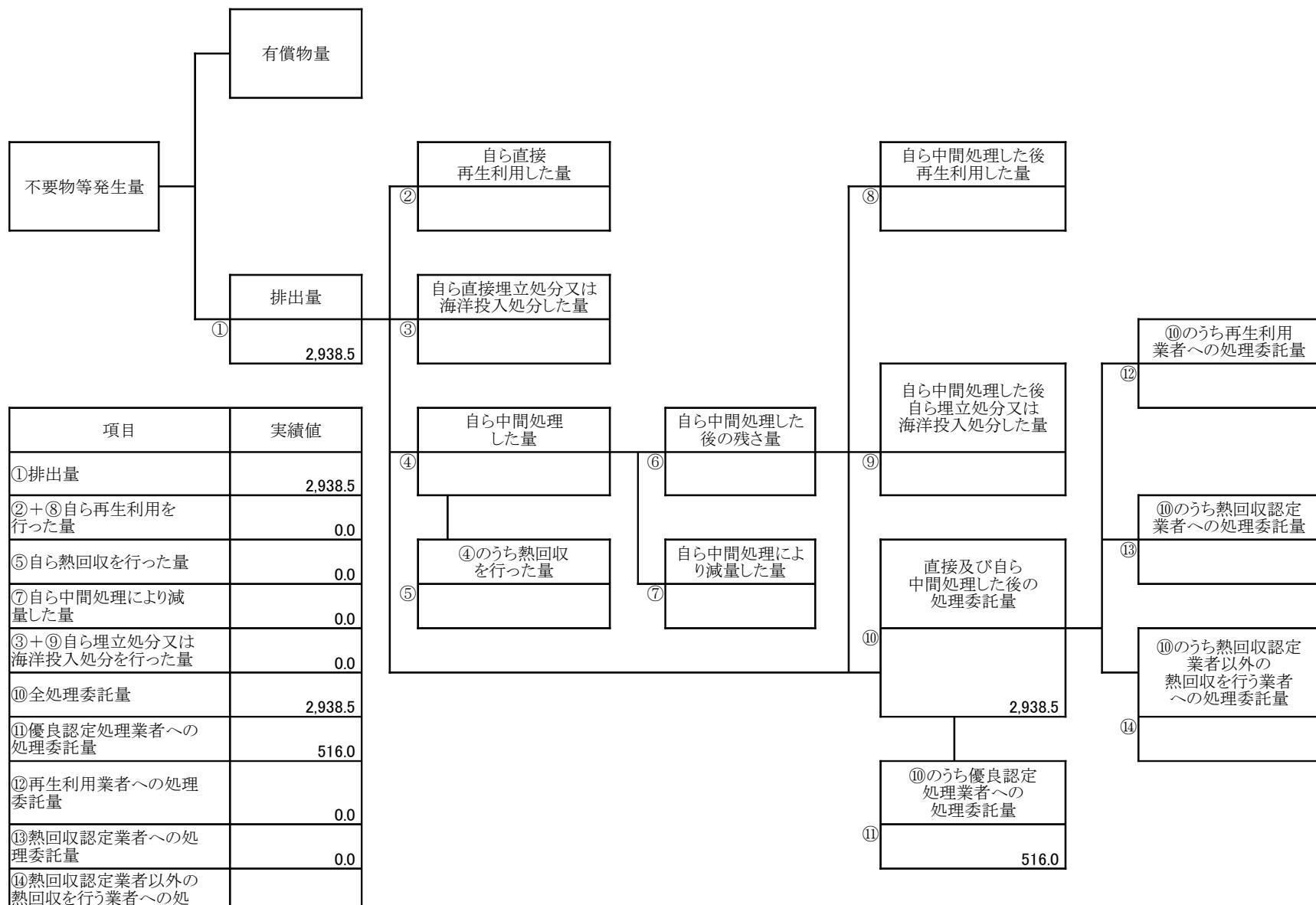


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

(単位:トン)

(第2面)

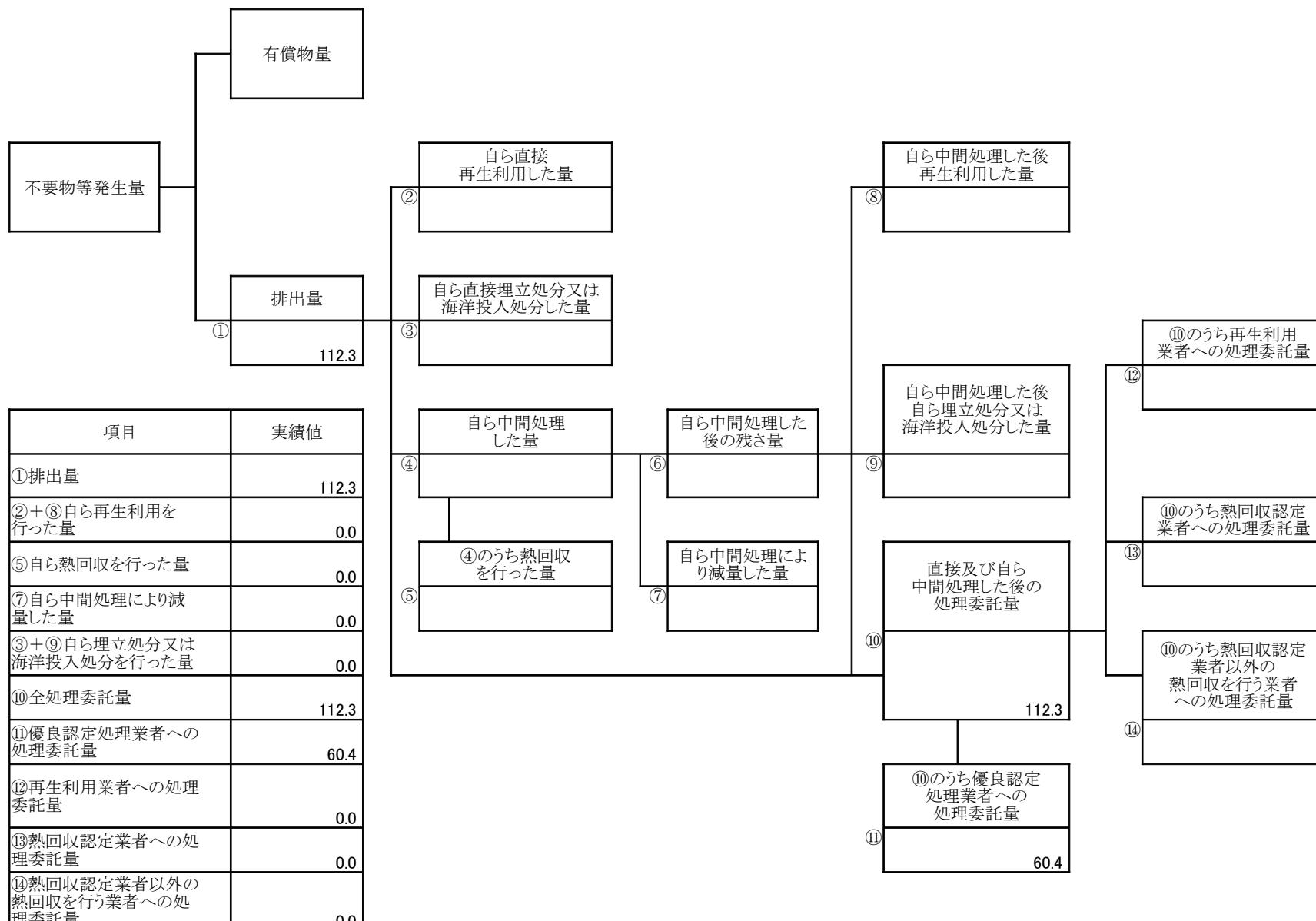


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位:トン)

(第2面)

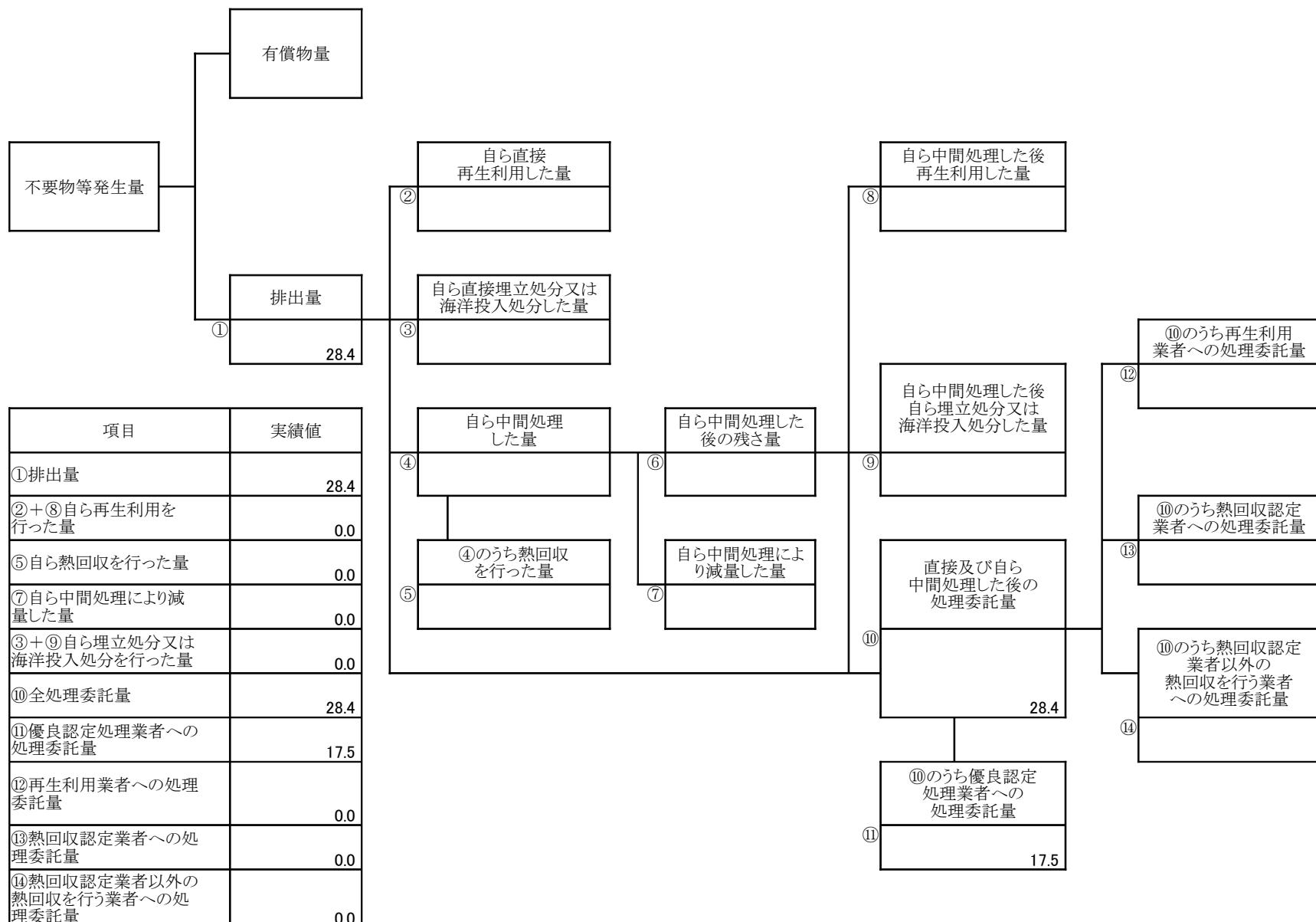


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

(単位: トン)

(第2面)

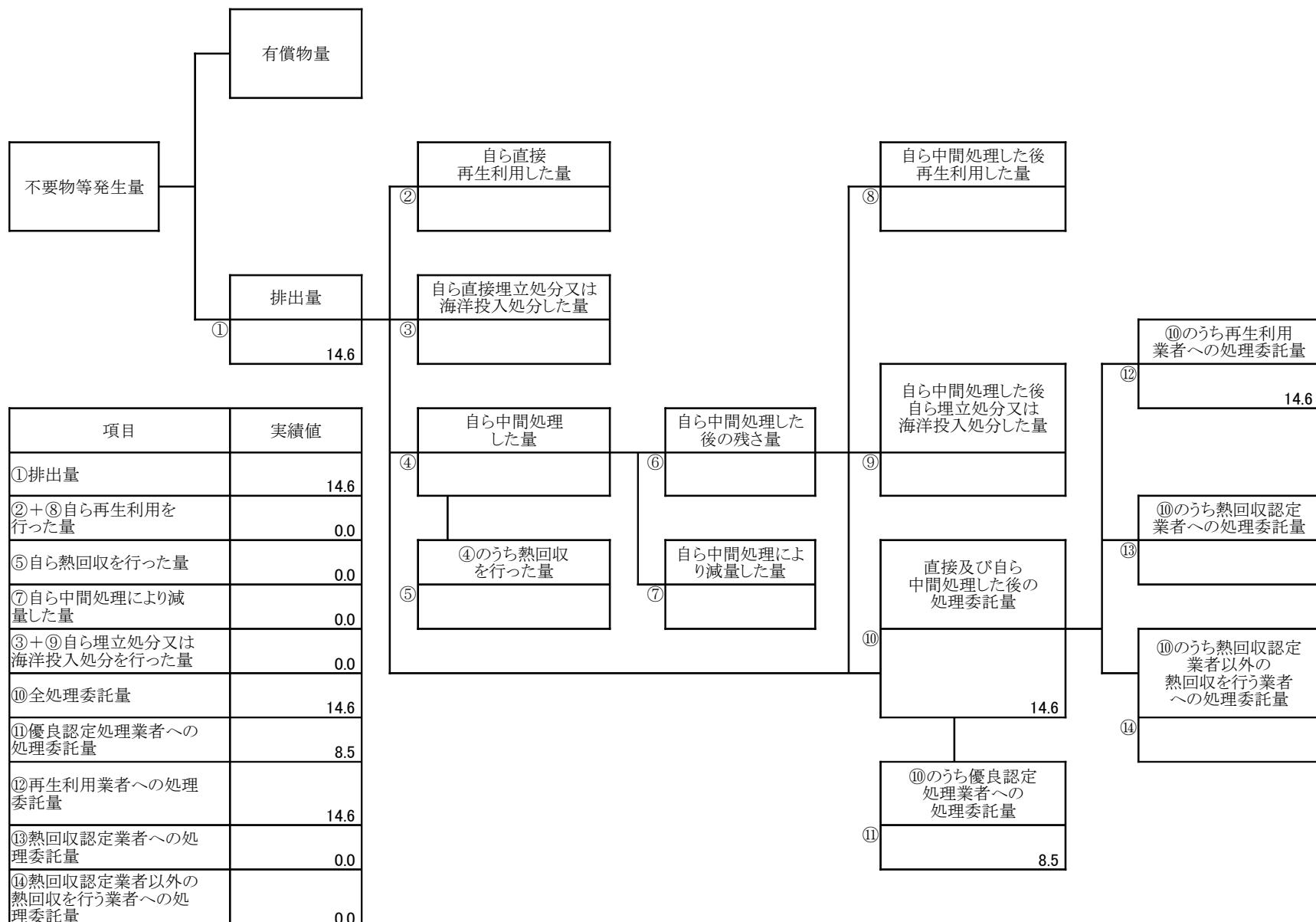


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

(単位: トン)

(第2面)

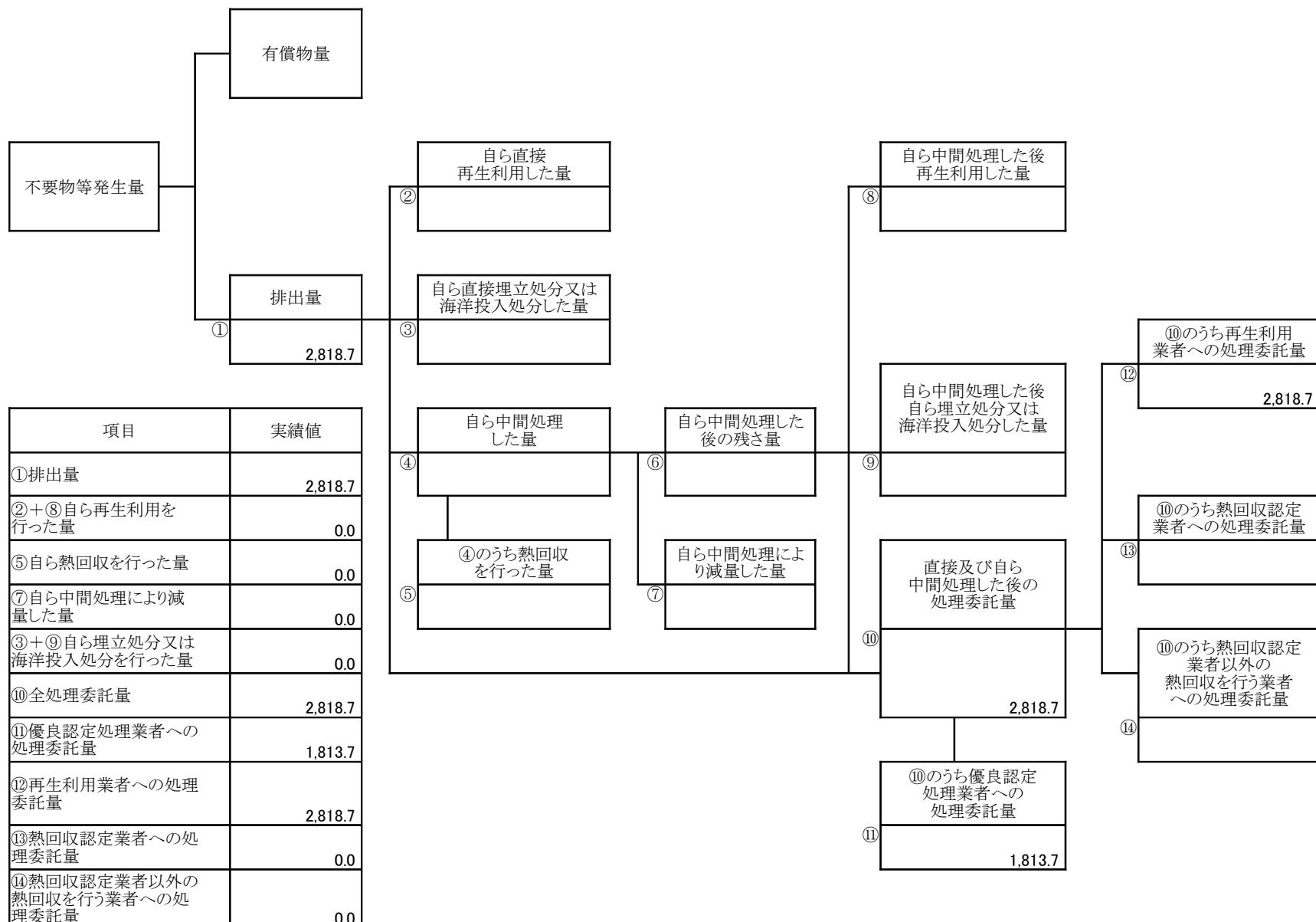


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

(単位: トン)

(第2面)

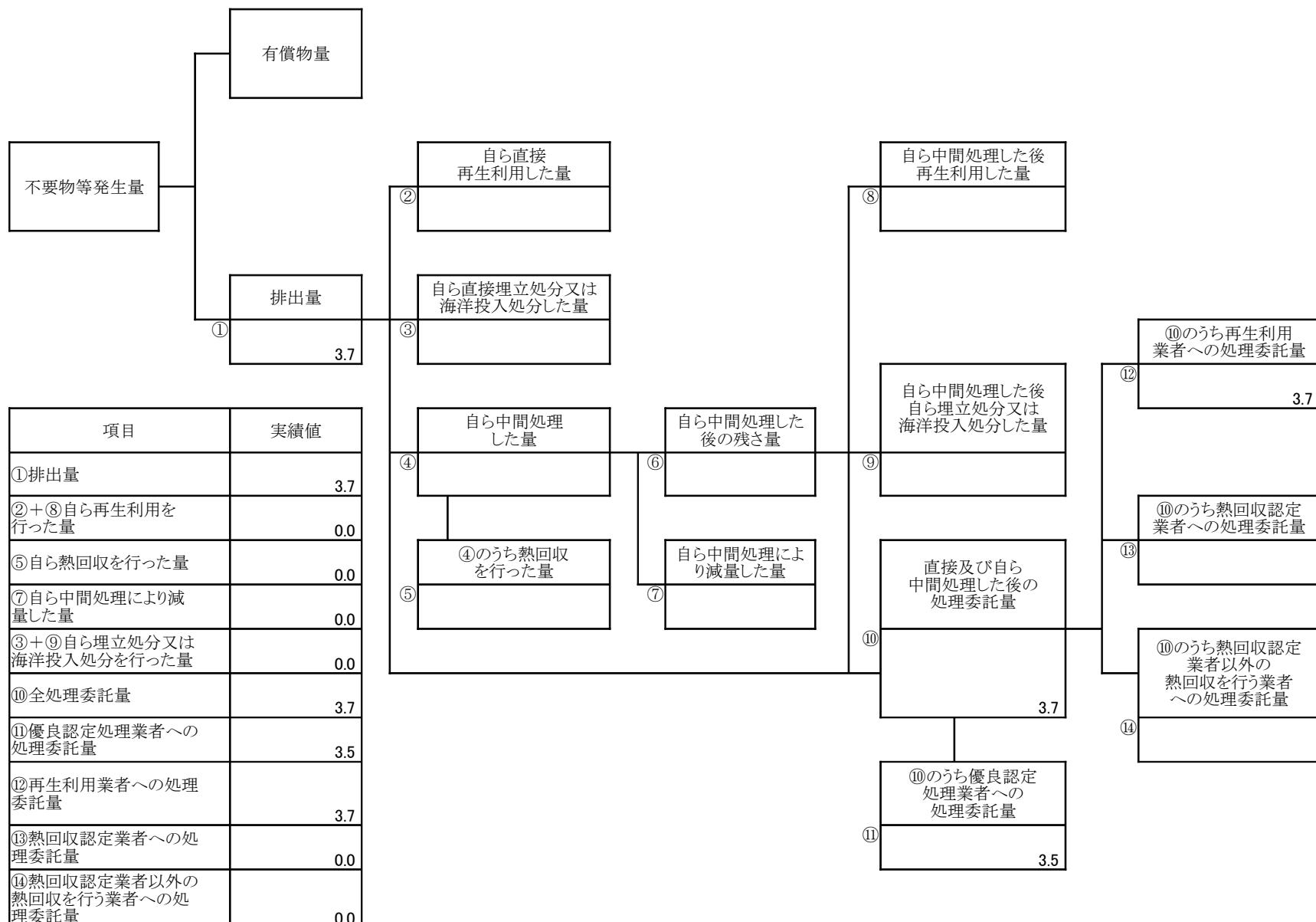


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

(単位: トン)

(第2面)

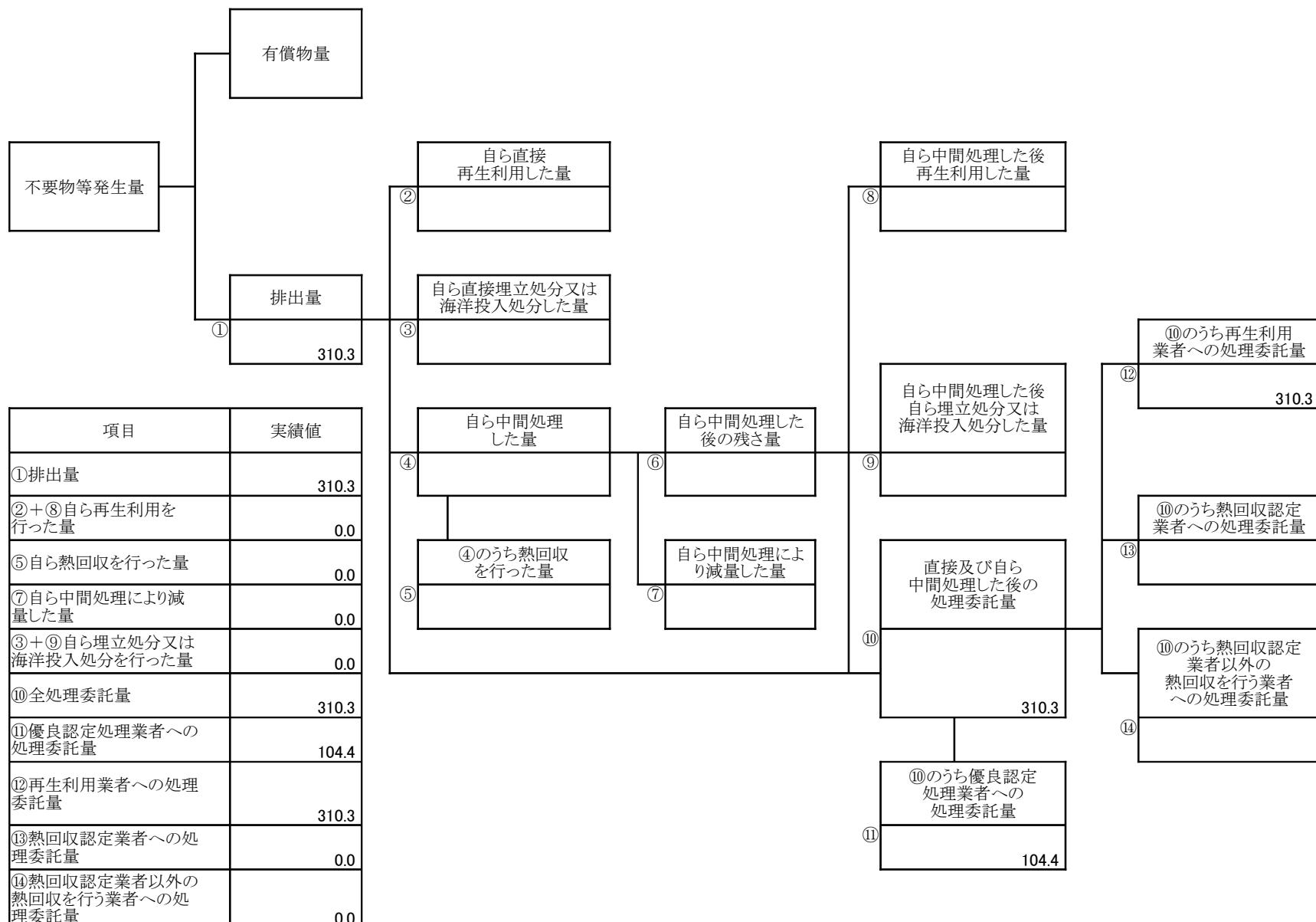


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

(単位: トン)

(第2面)

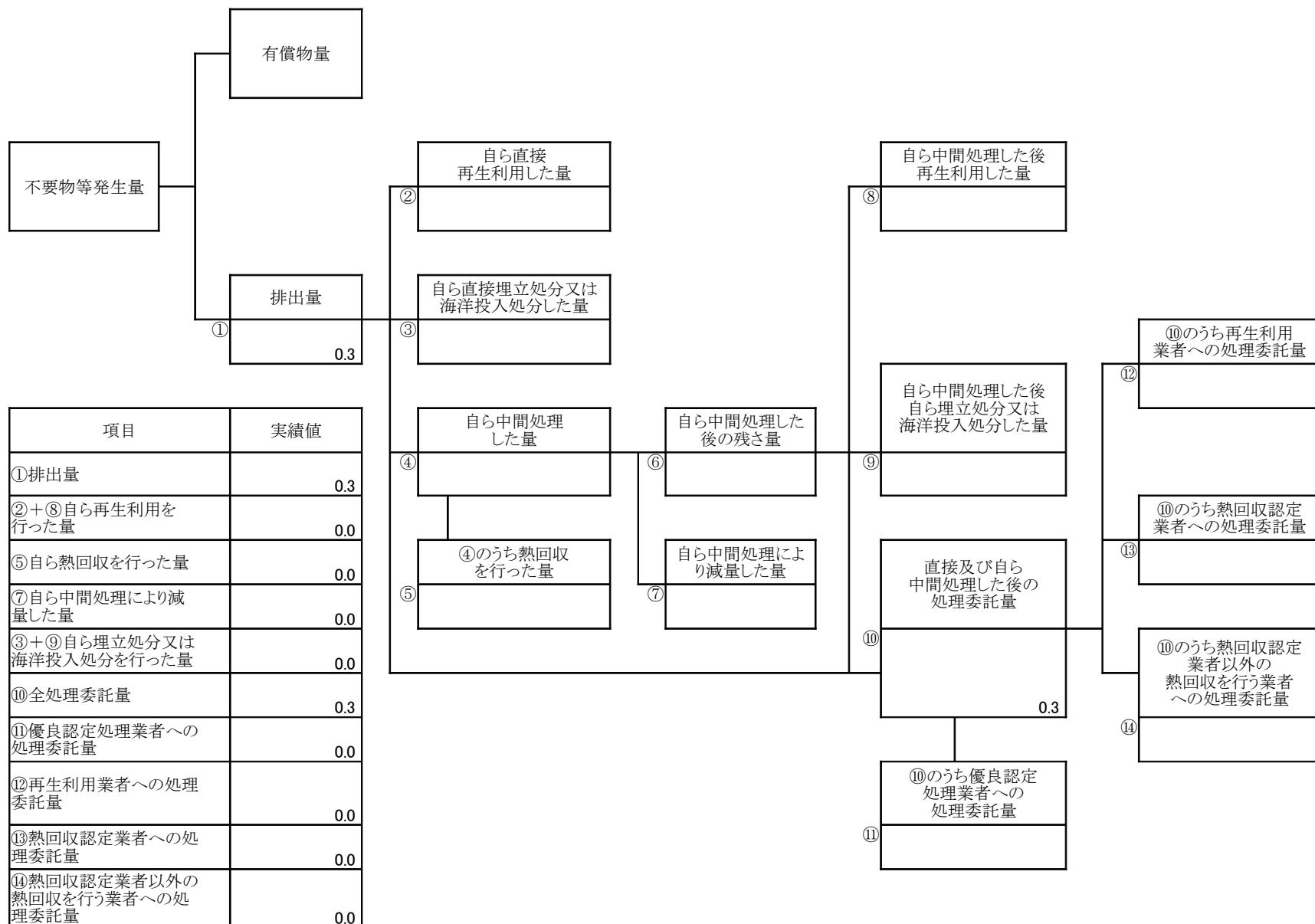


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

(単位: トン)

(第2面)

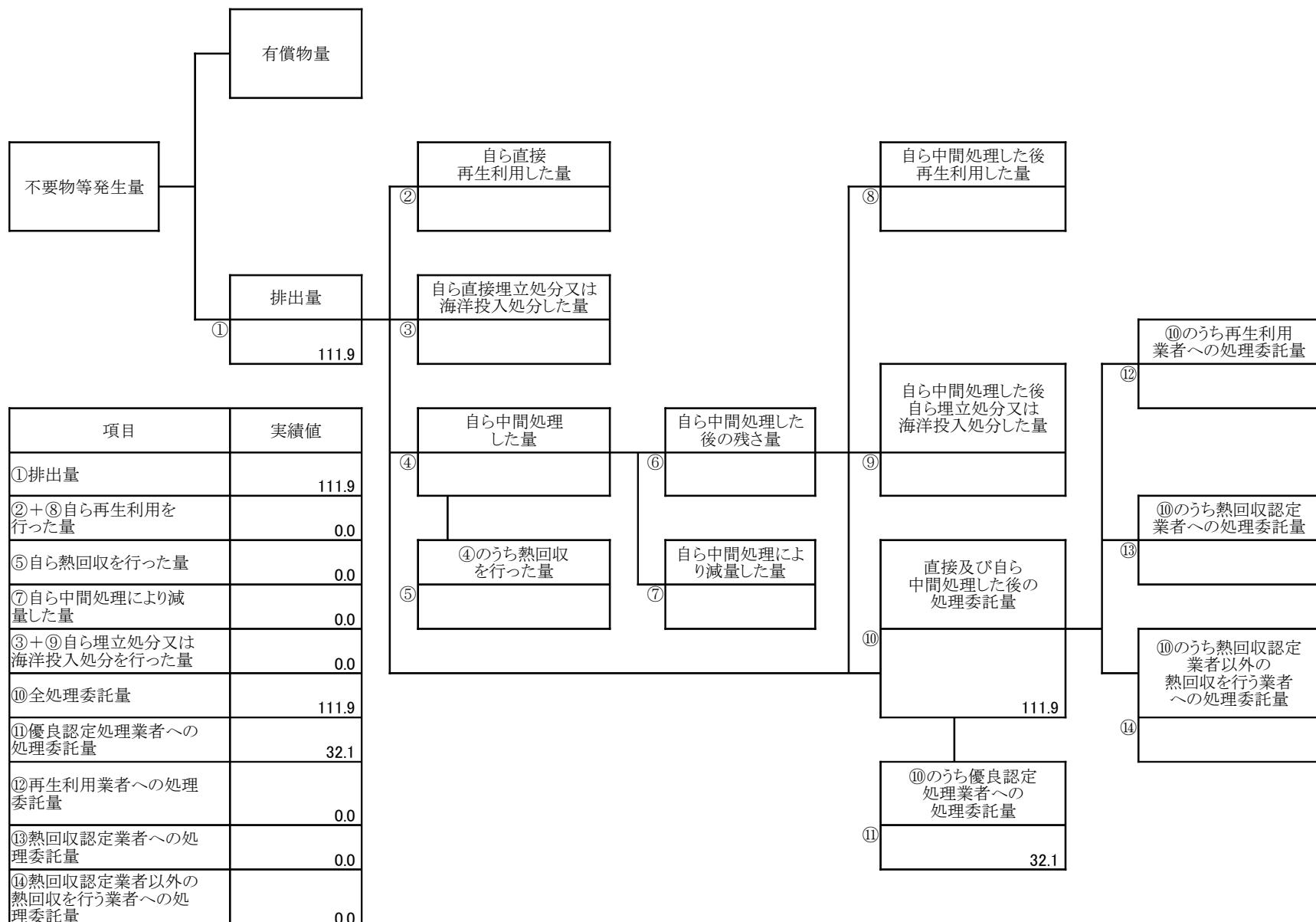


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

(単位: トン)

(第2面)

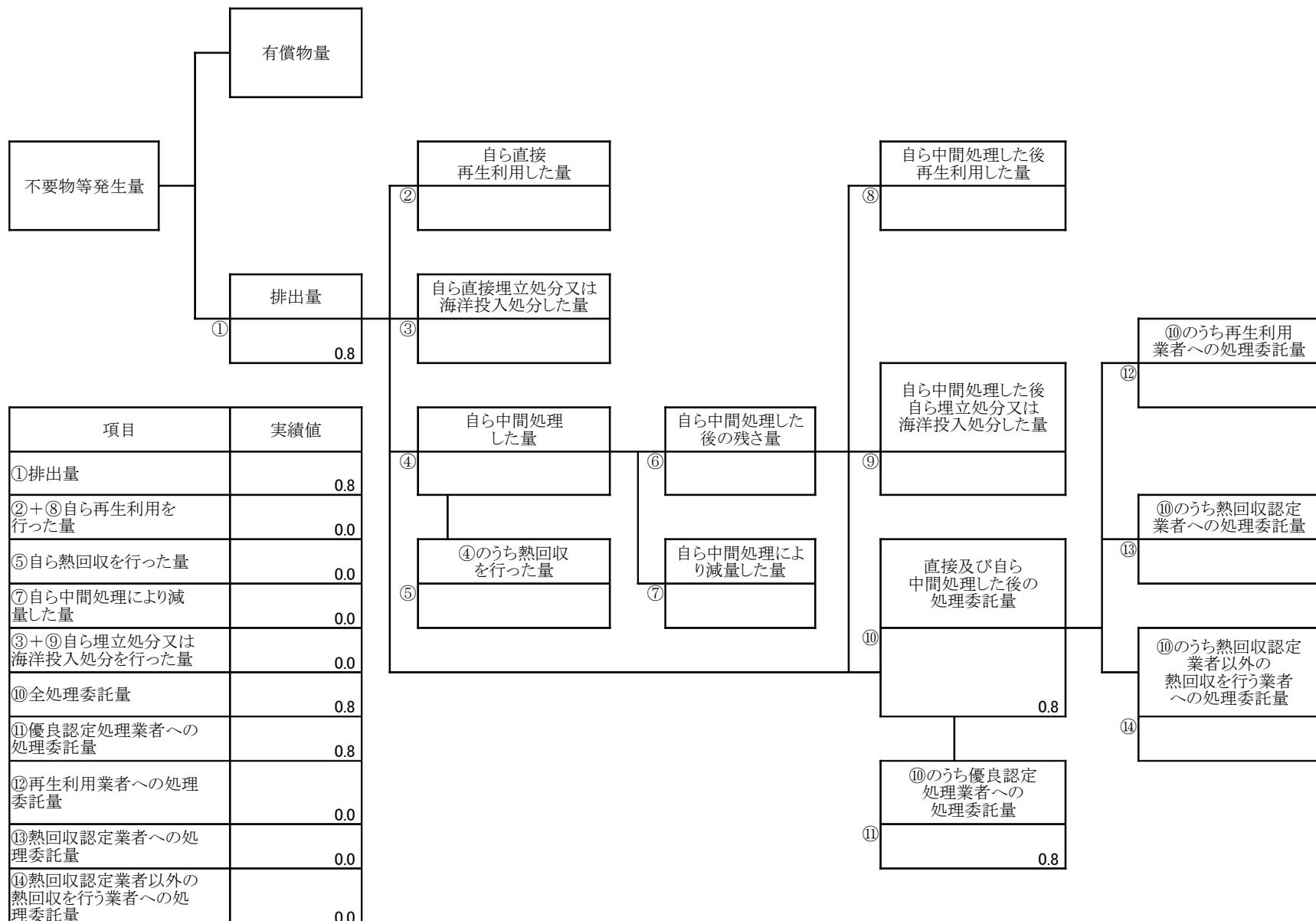


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

(単位: トン)

(第2面)

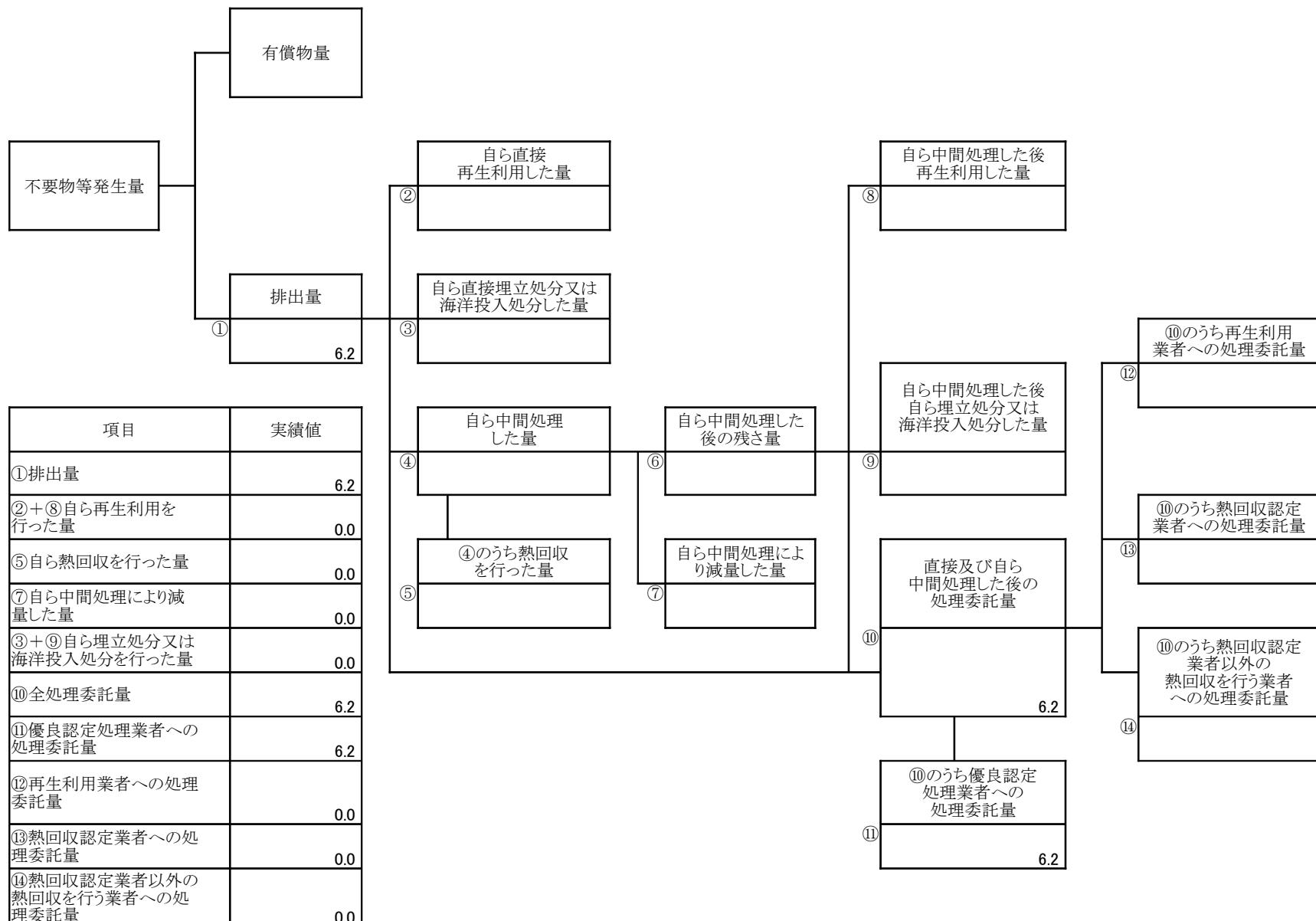


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

(単位: トン)

(第2面)

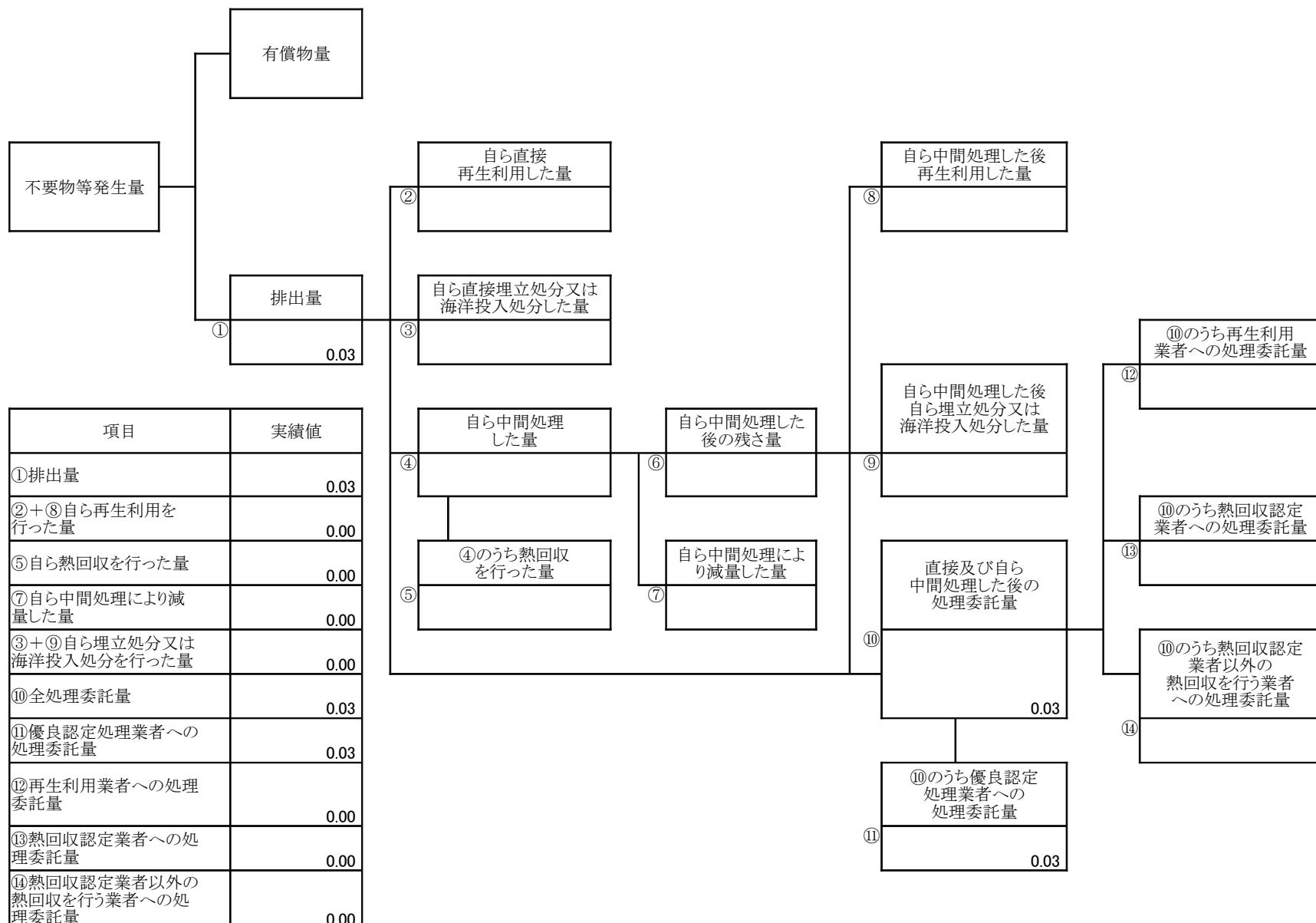


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

(単位: トン)

(第2面)

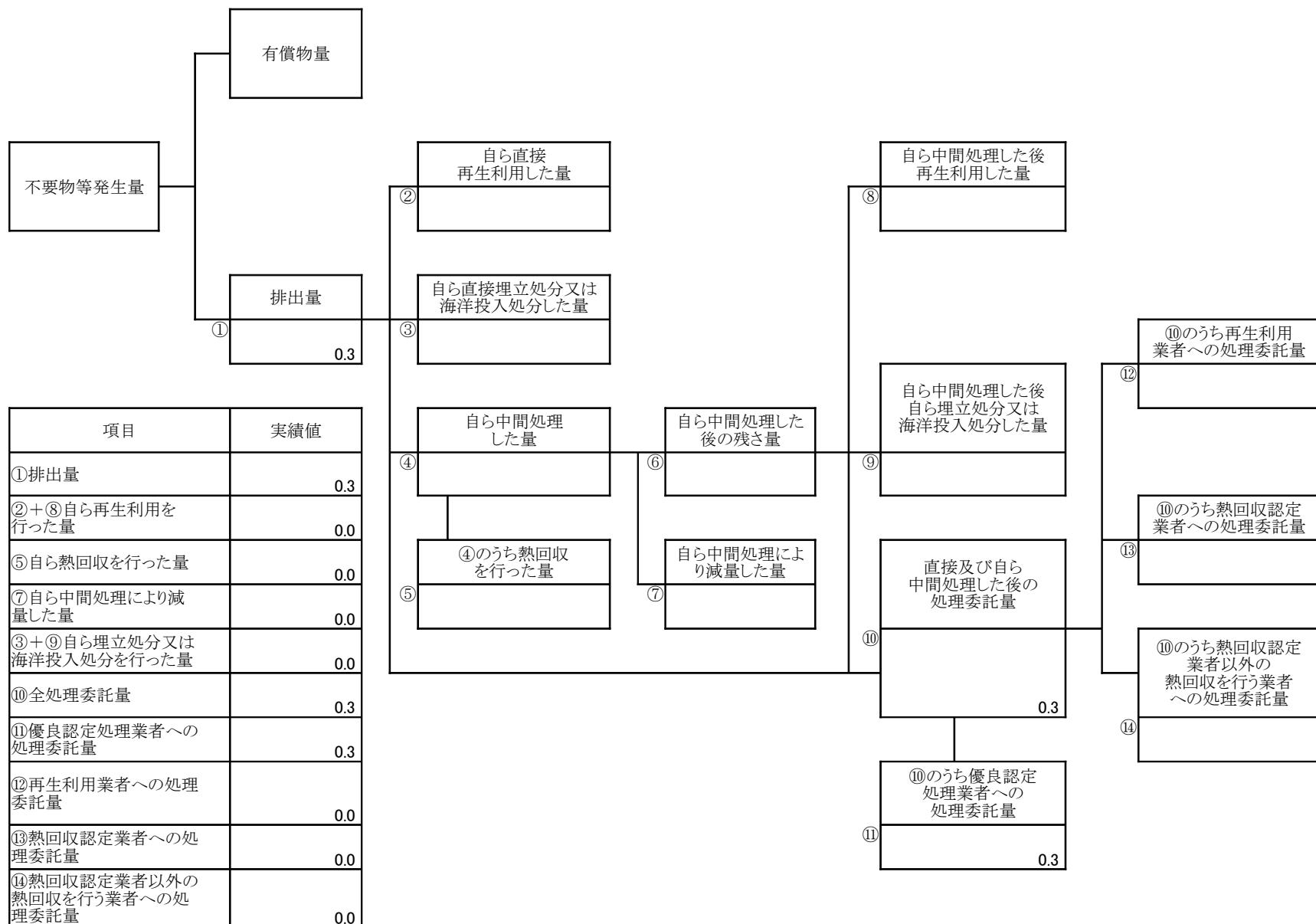


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品(廃蛍光管))

(単位:トン)

(第2面)

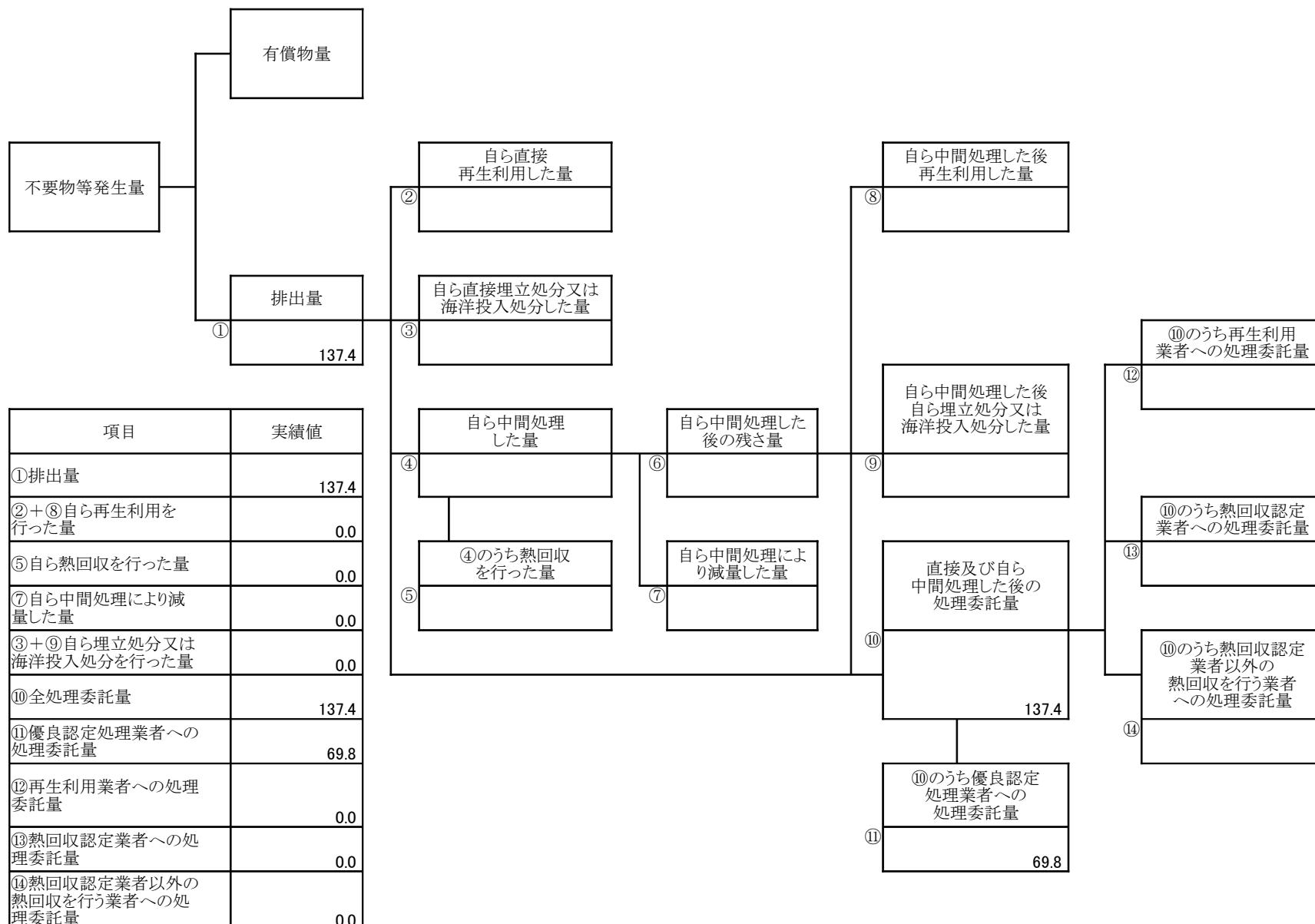


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

(単位:トン)

(第2面)

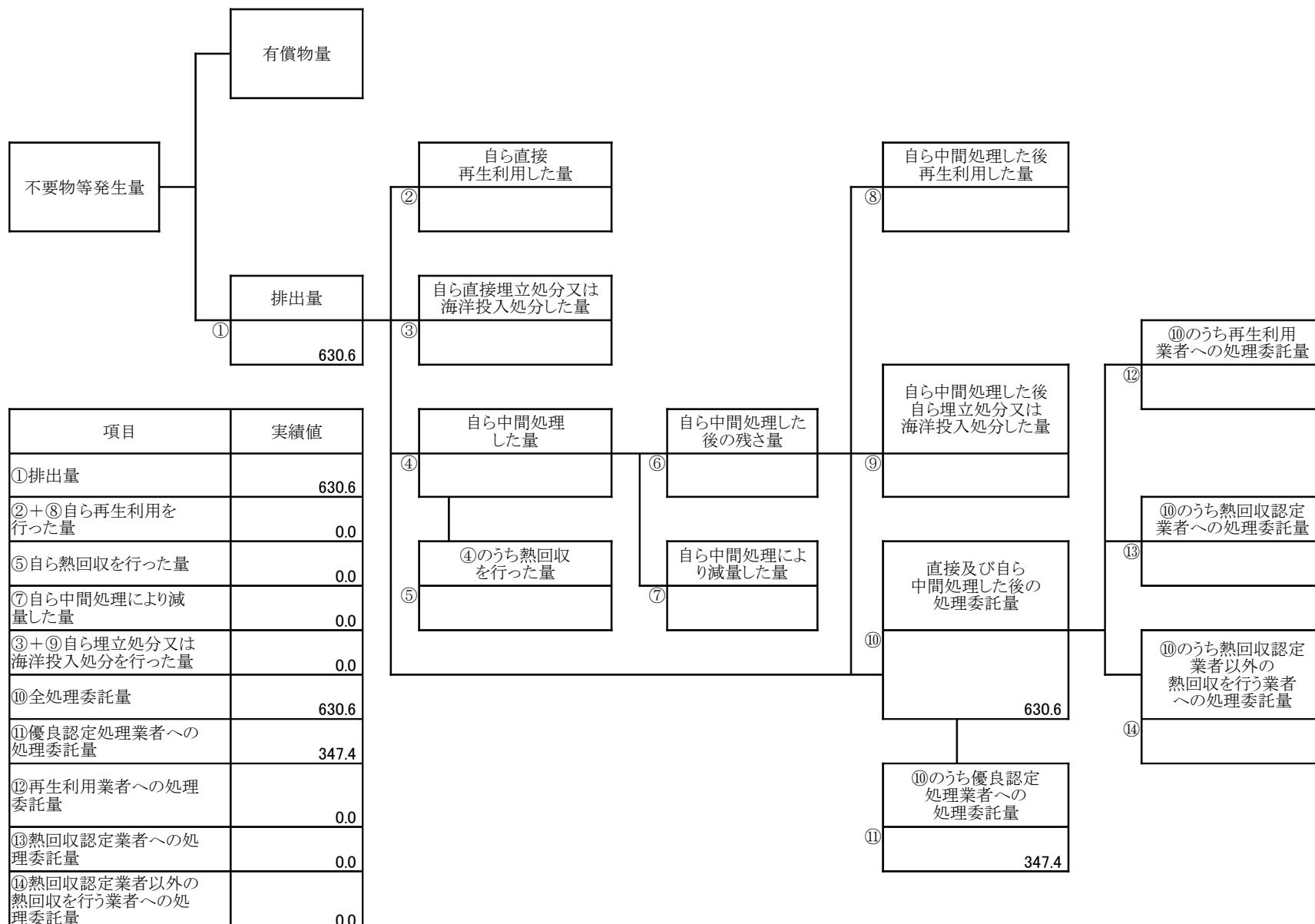


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

(単位:トン)

(第2面)

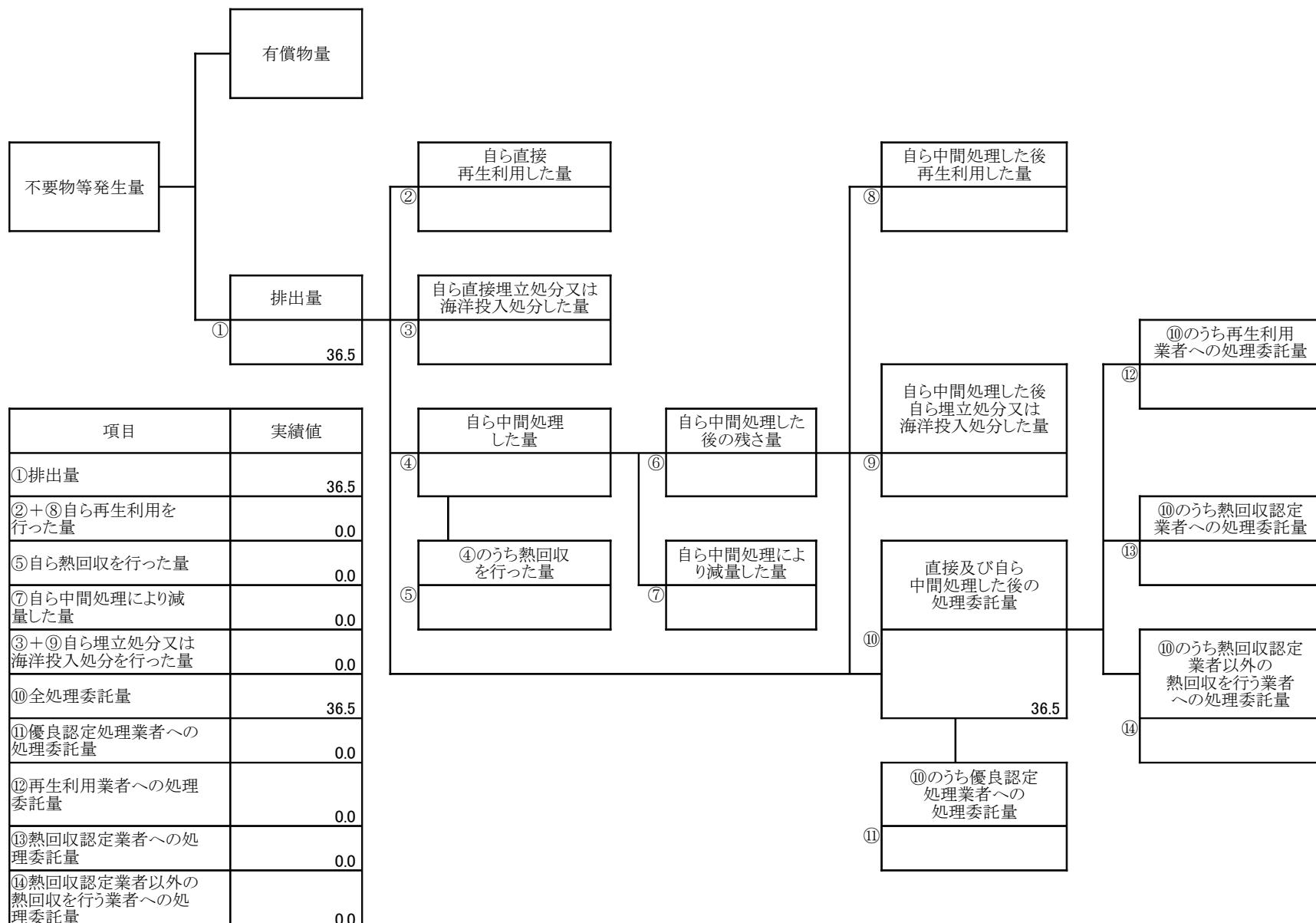


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

(単位: トン)

(第2面)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、達成した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれに掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海上投棄した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃業者等の第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃業者等の第6条の11第2号に該当する者)である処理業者への焼却委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行った焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、該種類の廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を提出すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

。

業廃棄物処理計画に記載

いぞれに、(1)から(14)

洋投入処分した量

罰処理前の量

清掃に関する法律施行令

及び清掃に関する法律

委託処理量

行っている処理業者への

いたそれぞれの実績値を記

第2面の例により産業廃

添付すること。